

「全国賃貸住宅新聞社」2022年6月27日号に当社の空き家戸建の賃貸リフォームを掲載いただきました。

「全国賃貸住宅新聞社」2022年6月27日号に

当社の空き家戸建の賃貸リフォームを取材頂きました。

ご取材いただきありがとうございました。

10年間の空き家をリノベ 相場の1万8000円高で成約

リノベーション 解体新書



**カラースバリュー
トウキョウ**
空き家の再生を手がけるカラースバリュートウキョウ

キョウ(東京都渋谷区)は、築48年の2階建て木造戸建てをリノベーション。改修費用は約460万円。

約10年間空き家だった。が、施工終了から1カ月以内に3件の申し込みが入った。

周辺の家賃相場が6万5000円ほどのところ、ペット1匹分の飼料上乗せを含め、8万3000円に設定した金額で入居が決まった。

同物件は、埼玉県春日部市にある東武鉄道伊勢崎線の1ノ割駅から徒歩13分に立地する。住戸の広さは14坪で、間取りを4DKから3LDKに変更した。

DKに変更。1睡のキッチンと和室をつなげ、リビングに自らが届くカウンタートップのある広々とした14畳のLDKとした。また、水回りの設備を一新。床には補修が比較的簡単にできるクッションフロアを採用した。

入居者のターゲットは、都内からの移住者や都内勤務者で、子育て世帯を想定した。近隣にペット飼育可の賃貸物件が少ないため、ペット飼育者からの需要も見込んだ。

実際に入居したのは、近隣のアパートにペットと共に住んでいた夫婦だ。ペット可の戸建て賃貸を求めており、物件を見て比較した結果、設備が良く内装がきれいな同物件を気に入ったという。

を気に入ったことが決め手だったという。同社の水田将太郎取締役は「子育て世帯を中心に、比較的広い戸建てに住みたいという声が多い。空き家再生を通してそのような需要に応えていきたい」と話した。

共用部 プチリノベーション

第3回 光で目を引く、照明プラン
集合住宅、特に賃貸。どを入ると雰囲気。物件の外部照明という。良くなり、夕方の内観と、エントランスドア。時に入居検討者の心を前。の軒下と、場合によ。つめるでしょう。



また、外壁デザイン。と合わせて間接照明。いる場合などは、事例

ポイント照明で印象付け効果

あてると、照明の印象。事例のよ。件サインをポイントで照らすのは間接照明の第一歩として、お勧めです。もちろ、来訪者や配達員。た。に。は。街並

1のように入カポトライトで壁を明るく照らすと、デザインが際立ちます。また、人の目は、光があたった面の明るさでその強弱を判断する。高。に。照。明。が。テ。ラ。ス。に。あ。た。る。と。セ。ン。ス。ア。ッ。プ。さ。れ。て。物。件。価。値。も。高。ま。り。ま。す。

また、水回りの設備を一新。床には補修が比較的簡単にできるクッションフロアを採用した。入居者のターゲットは、都内からの移住者や都内勤務者で、子育て世帯を想定した。

壁紙おまひ床材大手のリリカラ(東京都新習志野)は貼って割がせるタイプの薄型ビニール床タイル「リカラ」を発表した。

部分張りの替えや重ね張り可能な製品で、狭い場所がよいのが特徴。自然な仕上がりになった。木目調と、シンプルで高級感のある白目調をそろ

を気に入ったことが決め手だったという。同社の水田将太郎取締役は「子育て世帯を中心に、比較的広い戸建てに住みたいという声が多い。空き家再生を通してそのような需要に応えていきたい」と話した。

オンライン上で全文無料でご覧いただけます。

[オンライン上で記事を見る](#)